

平成28年度 機関保証制度検証委員会

# 機関保証事業概要

平成28年11月28日

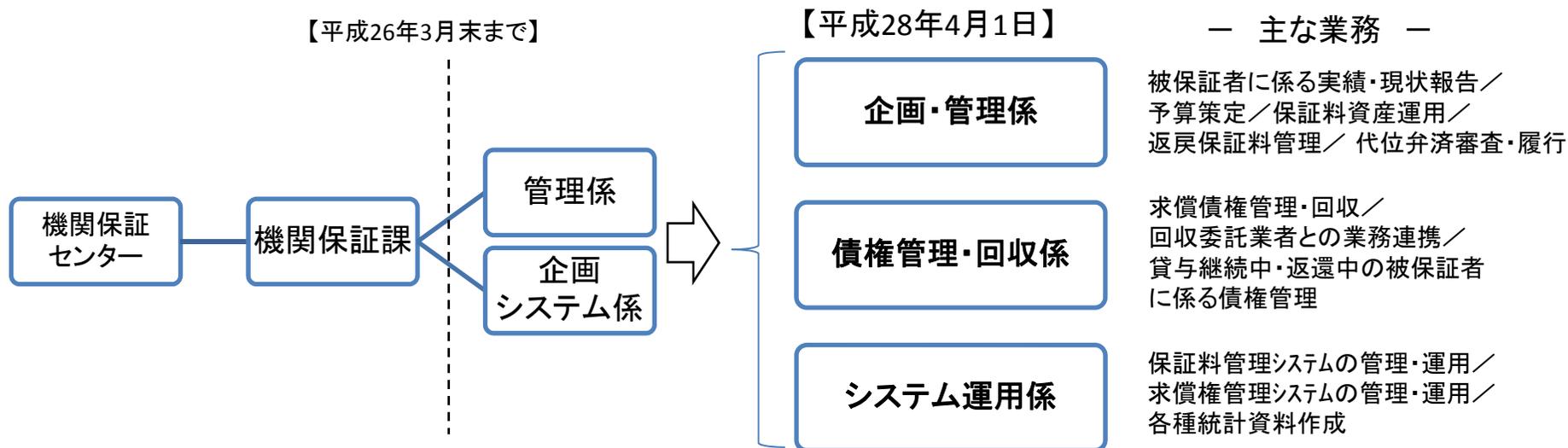


公益財団法人 日本国際教育支援協会  
Japan Educational Exchanges and Services

# 1. 機関保証センターの体制

## ① 機関保証センターの組織

機関保証センターは、1課(機関保証課)・2係(管理係/企画システム係)から平成26年度より1課3係体制へ充実



## ② 機関保証センターの人員

【平成16年4月1日制度発足時】 5名

- ・機関保証センター長 (協会プロパー)
- ・機関保証課長 (機構出向者)
- ・機関保証課長補佐 (機構出向者)
- ・管理係長 (機構出向者)
- ・企画システム係長 (機構出向者)

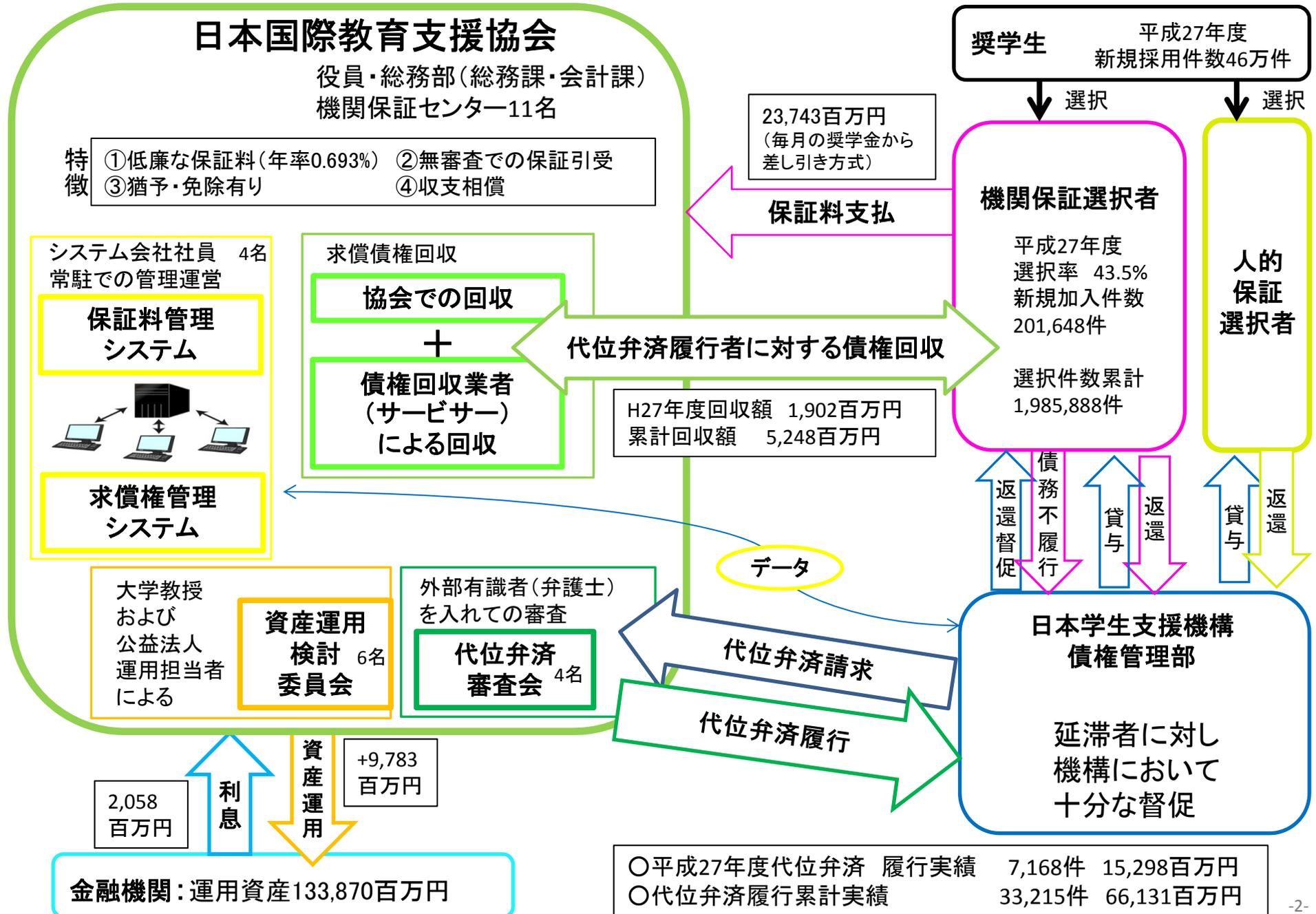
【平成28年4月1日現在】 11名

- ・機関保証センター長 (協会プロパー) 民間金融機関出身
- ・機関保証課長 (機構出向者)
- ・課長補佐 (機構出向者)
- ・企画・管理係長 (協会プロパー) 民間コンサルティング会社出身
- ・企画・管理係主任 (協会プロパー)
- ・企画・管理係員 (協会プロパー)
- ・債権管理・回収係長 (協会プロパー)
- ・債権管理・回収係主任 (機構出向者)
- ・債権管理・回収係員 (協会プロパー)
- ・システム運用係主任 (機構出向者)
- ・システム運用係員 (機構出向者)

◇機構出向者は、基本的に10年以上の奨学金実務または機関保証実務経験者

## 2. 機関保証体制と制度スキーム

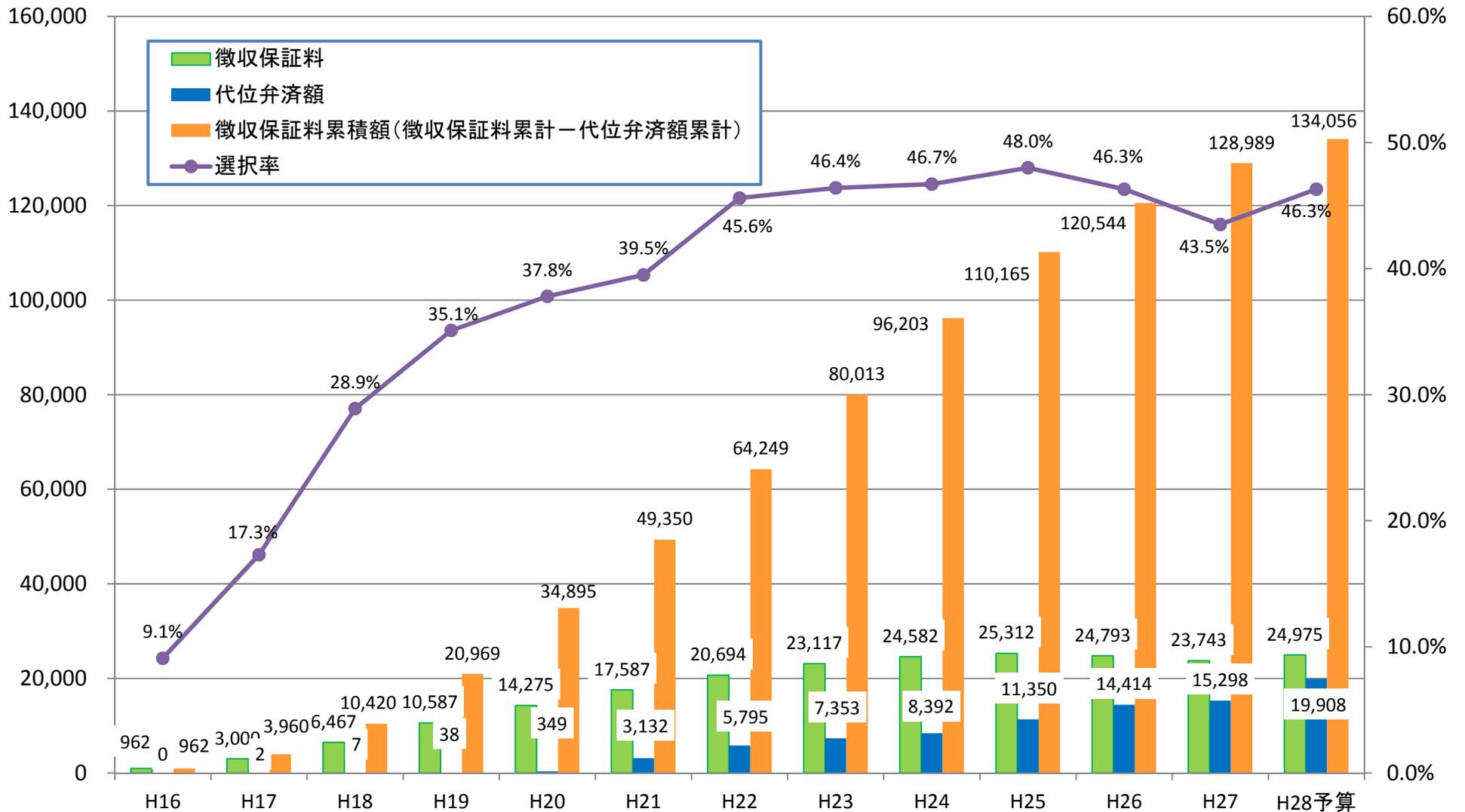
平成27年度決算ベース



# 3. 年度別 機関保証制度推移

## ①徴収保証料・代位弁済額・徴収保証料累積額・新規選択率の年度別推移

単位:百万円



平成28年度9月末実績は下記のとおり。

・徴収保証料 : 11,438百万円  
 ・代位弁済額 : 6,020百万円  
 ・徴収保証料累積額 : 134,407百万円  
 ・選択率 : 41.2%

## ②経過保証料(収入保証料)

単位:百万円

H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28予算
47	247	697	1,456	2,498	3,795	5,353	6,957	8,670	10,402	12,031	13,405	14,438

## ③債務保証残高

単位:百万円

H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28予算
21,797	88,566	229,230	452,178	742,152	1,083,435	1,466,742	1,875,871	2,287,421	2,682,341	3,035,377	3,333,456	3,611,865

## ④受取利息(上段)・運用利回り(下段)

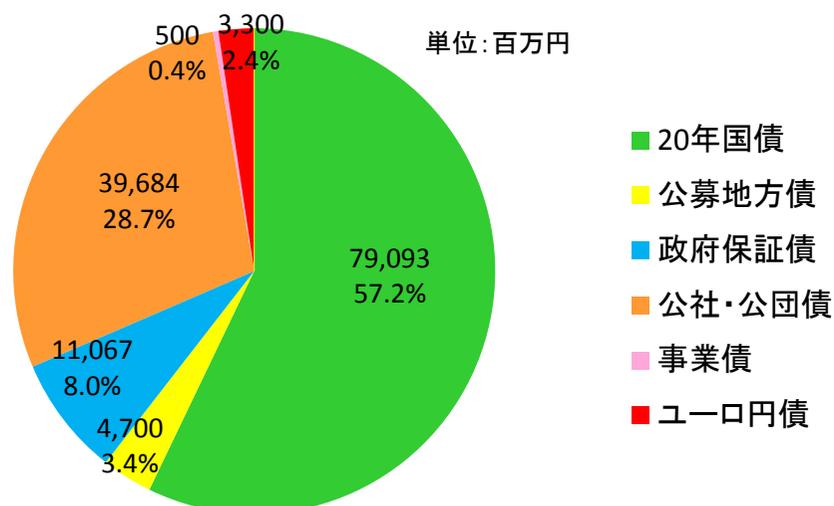
単位:百万円(上段)  
% (下段)

H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28見込
0	21	88	230	514	758	902	1,346	1,448	1,821	1,951	2,058	2,140
-	1.52	1.78	2.19	2.16	1.93	1.61	1.62	1.75	1.69	1.63	1.57	1.51

## ⑤保有資産(簿価)

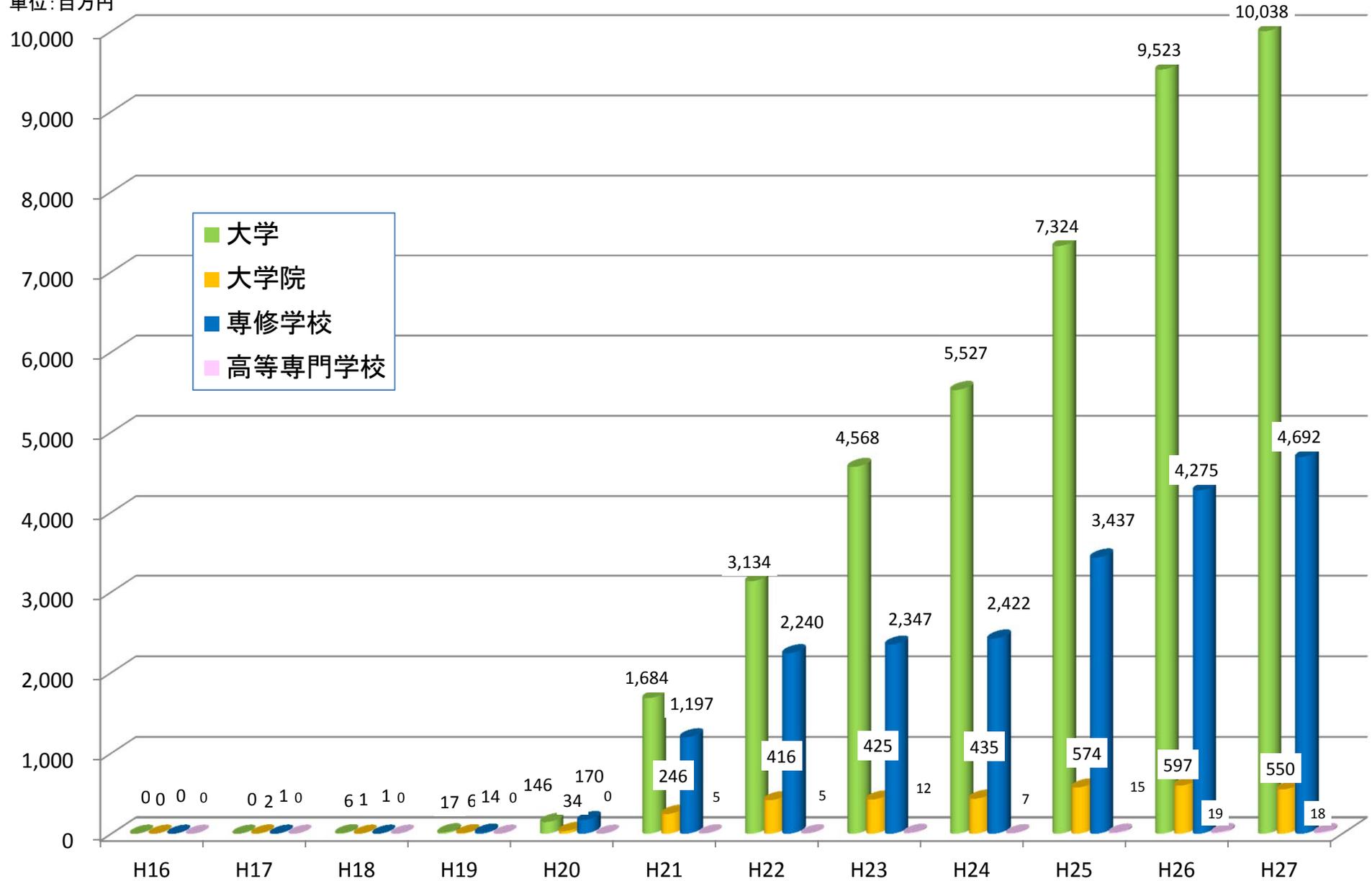
1,383億円  
(平成28年9月末現在)

単位:百万円



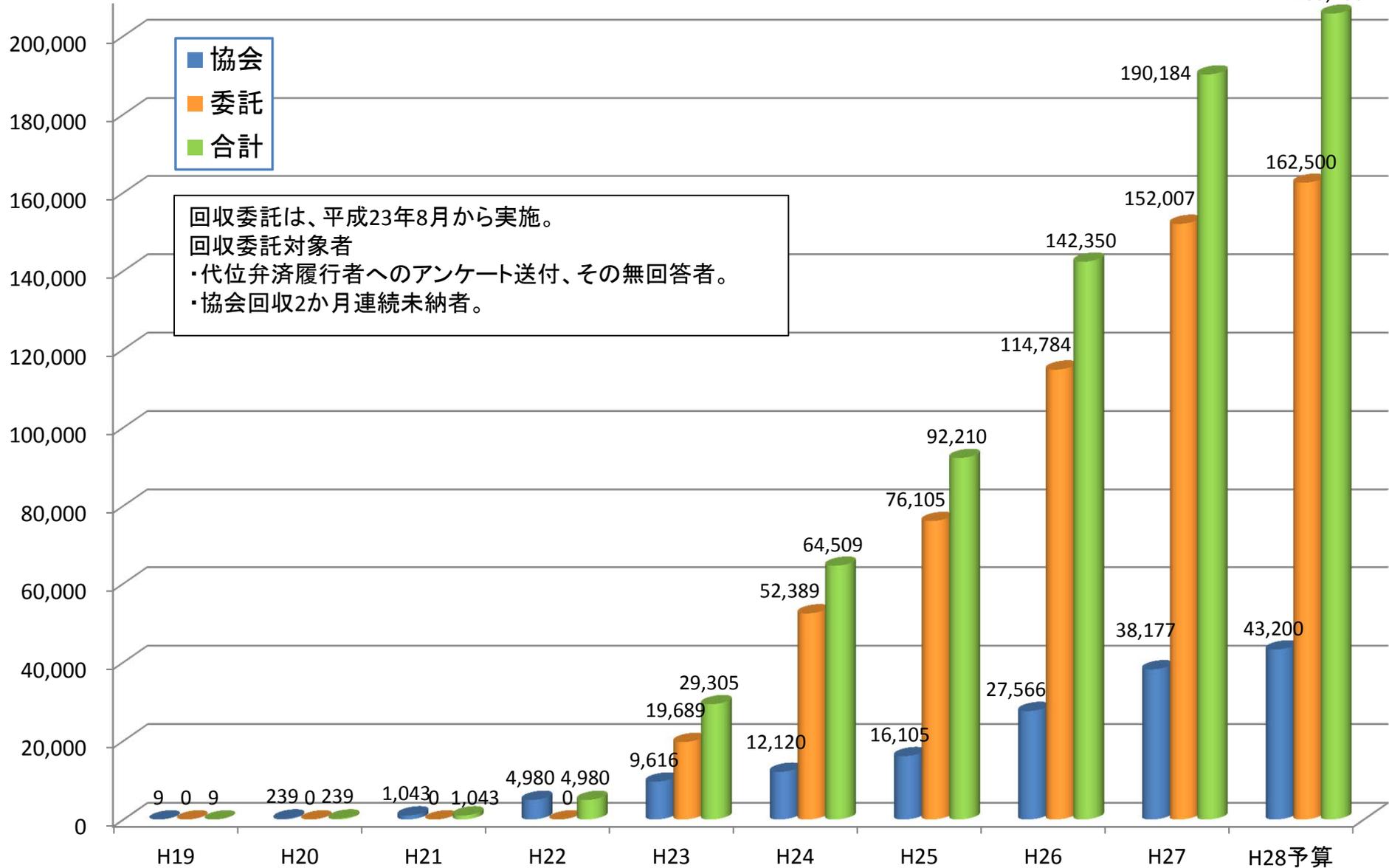
# 4. 学種別 代位弁済額

単位: 百万円



# 5. 年度別 求償債権回収額状況

単位: 万円



回収委託は、平成23年8月から実施。  
 回収委託対象者  
 ・代位弁済履行者へのアンケート送付、その無回答者。  
 ・協会回収2か月連続未納者。

H28年度9月末実績は、協会22,753万円、委託96,279万円、合計119,032万円

## 6. 求償債権の回収強化に向けて

### 回収体制の強化

- 平成29年度までに1名の職員増員を予定。
- 機構との人事交流を活発化するとともに、日常業務における機構との密なコミュニケーションを継続。ノウハウも共有。
- 協会回収を強化。アンケート回収率の向上。協会維持率の向上。

### 法的措置の導入

- 平成27年度下期に支払督促催告書を内容証明郵便にて送付。送付1,947件、送達867件(44.5%)、入金236件(27.2%)
- 平成28年度上期実績は、送付1,759件、送達823件(46.8%)、入金212件(25.8%)
- 支払能力があると判断できた者には支払督促申し立てを8件実施済(6件は支払に応じた。2件はフォロー中)。追加にて1件の支払い督促申し立てを予定中。
- 平成28年下期にも1,500件の催告書を内容証明にて送付予定。

### サービスの活用

- サービスとの情報交換、情報共有化を促進させるとともにより効率的な回収策を検討・推進。
- サービスとの打ち合わせを、毎月実施。
- 機構におけるサービス活用のノウハウ提供を受け、協会のサービスとも共有し、更なる回収の向上を推進。